

平成22・23年度野球協会学童部常任理事

理事長	河崎 六郎	夏見 パワーズ
事務局長	藤田 慎介	
副理事長	門脇 四郎	F T J
	広報部長 國信 晃	法典 コンドル
	金子 親男	宮本 ビーバース
	審判部長 須田 晴之	二和 タイガース
	企画部長 栗林 鉄浩	
	村山 一雄	三山 スワローズ
東部支部長	平田 聡	前原 サンライズ
西部支部長	植村 浩志	小栗原 ベアーズ
南部支部長	増田 隆夫	宮本 ビーバース
北部支部長	飯島 秀人	小室 ライオンズ
総務部長	谷島 藤吉	坪井 バンデッツ
(渉外部長兼務)		
総務副部長	塚本 圭子	若松 ヤンガーズ
財務部長	河端 浩己	藤上 ベアーズ
財務副部長	安彦 幸治	若潮 スワローズ
企画副部長	肥後 良太	三山 パワーズ
事業部長	岡本 良文	西海 ドラゴンズ
事業部副部長	杉山 英夫	ツインドルフィンズ
事業部副部長	嘉藤 誠	宮本 ビーバース
事業部副部長	原田 弘巳	大穴 ベガサス
広報副部長	谷田部 忠	西海 ドラゴンズ
審判副部長	横沢 重夫	ツインドルフィンズ
審判副部長	森 義男	F T J
審判副部長	漆原 義彦	夏見台 アタックス



成二二年度の事業計画、収支予算案の提案があり、審議が行われ、原案通り可決されました。議案の審議が終わり、事務局より大会規程改定等の報告があり、総会は終了しました。

平成二二年度の学童部総会は三月一四日(日)に三咲公民館で開催されました。今年度は国体準備のため運動公園の会議室が使用できず、三咲公民館での開催となりましたが、例年と同様、春季大会監督会議・抽選会終了後のあわただしさの中で始められました。まず、平田議長(前原サンライズ)をはじめとする議長団(東部支部)が選出され、定数確認のあと議事に入りました。

二二年度の会務報告、会計報告、監査報告の後、二・三質疑応答があり原案通り承認されました。今年度は役員改選の年にあたるため、引き続き役員改選に入りました。国信副理事長から、当日行われた理事会の決定により、河崎六郎氏が理事長に推挙され、満場一致で承認されました。その後、河崎理事長より副理事長、常任理事及び監事の推薦があり何れも承認されました。次に新執行部より、平

平成二二年度学童部総会
新役員決まる



春季市民野球大会の総会開会式が夏見の運動公園野球場で三月二八日に

第六一回船橋市民春季野球大会

行われました。昨年は、運動公園野球場が改装工事中だったため、二年ぶりの総合開会式となりました。一般の部一部優勝チームを先頭に入場行進が行われました。学童部は前年度春季大会Aリーグ優勝の夏見台アタックスを先頭に参加四二チームが整然と行進しました。来賓の挨拶の後、一般・中学の代表とともに高郷スターズの稲毛主将が元

高瀬の小屋リニューアル
AB面駐車場に新事務所

老朽化のため、20年末に取り壊した高瀬町運動広場の学童部事務所(小屋)がようやく完成し、3月末に引き渡されました。場所は下水道の将来計画の関係からAB面の駐車場に変わり、また予算の都合?のため一回り小さくなりましたが、大会開催中の理事会等の打合せ、また、天候の急変等に対応できるようになりました。今後、時間をかけて使いやすいものにしていきたいと思います。なお、新事務所の室内は、土足厳禁、飲食禁止、禁煙とします。



気よく選手宣誓をしました。例年ですと、球場周辺の桜がきれいに咲いているのですが、今年はまだ気配もなく、肌寒い開会式でした。

平成二二年度功労者表彰

総合開会式に引き続き、運動公園野球場内において学童部の功労者表彰が行われました。今年はチームの指導や運営に十年以上携わった十九名(別掲)の方々が表彰され、春季大会開会式に参加した学童部の選手たちが見守る中、大沢野球協会会長より感謝状が贈呈され、盛大な拍手を送られました。今後とも、チームの指導にご尽力頂くようお願いいたします。

氏名	所属チーム
熊谷和弘	高郷スターズ
高橋秀夫	原エイトマンズ
高橋裕明	ホワイトビースト
塚本浩	原サンライズ
武井吾郎	原サンライズ
米山正道	法典コンドル
馬医良明	法典コンドル
濱詰孝幸	西船ウィングス
岡村一郎	西船ウィングス
中野和夫	塚田クラブ
永井昌司	若潮スワローズ
漆原義彦	夏見台アタック
飯山博之	夏見台アタック
武富寛之	金杉台ユニオン
井上信之	金杉台ユニオン
澤上秀明	金杉台ユニオン
渡邊力夫	宮本ビーバー
松本知悦	F T
野村甲富	F T

東武鉄道杯

春季大会Bリーグ

ベスト4が出場
東武鉄道杯野田線沿線大会の詳細が決まりました。

前号でもお知らせしましたが、今年度から新たに始まる大会の日程等が

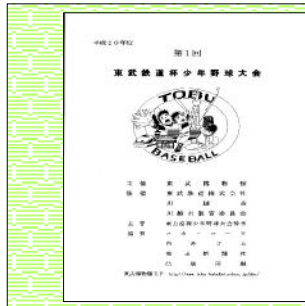
決まりました。

第一回大会は十月二日

流山市総合運動公園野球場で開会式を行い、その後、東西ブロックに分かれてブロック大会を行います(東部ブロックは十月九日、十日若松公園球場)、各ブロックの上位二チームが十月二三日に行われ



東上線大会パンフ



るブロック決勝、本大会決勝に進みます(会場は開会式と同じ)。

各ブロック大会の出場枠は各一六チームで、組み合わせ抽選会は九月十一日に行われます。

この大会は、五年生以下の大会で船橋の所属する東部ブロックでは各市四チームづつが出場する

先輩女子部員も活躍中

学童部出身の選手がいろいろな場面で活躍しています。ホワイトビーストロング出身の高山選手(日大三高)が先日春の甲子園に出場したのも記憶に新しいところですが、女子のOG達も負けず頑張っています。

平成二二年三二七日から福岡県内で第六回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会が開催されました。今年の千葉県選抜のメンバーに船橋学童部のOGが選出されました。

リトルスター出身、七林中の池内さん、夏見パワーZOG、船橋中の山本さんの3人です。それぞれの中学校でソフトボール部に所属し、船橋市の選抜チームでも活躍し、それが認められて千葉県選抜のメンバーに選ばれました。学童部所属チームの女子部員も卒団後、中

ことになっていきます。また、西部ブロックでは流山、野田市が各四チーム、さいたま市は浦和区、大宮区で計八チームが参加することになっています。

なりました。来年度以降は三大会の優勝チームを一堂に会して、全線大会開催する予定になっています。

なお、この大会は東武博物館が主催し、東武鉄道沿線の各連盟、協会が運営主体となって行いますが、平成二〇年度に東上線大会、二一年度に本線(東京・埼玉)大会を立ち上げ、今年度は野田線大会を開催することに

また、この大会は開会式に参加するとき、会場最寄りの駅まで東武線を利用するという決まりがあります。今回の野田線沿線大会では、流山市総合運動公園の最寄り駅「おおたかの森」まで野田線を利用することになります(駅から会場まで

学、高校に行っても野球ではあまり活躍の場所が無かったのですが(高野連では女子選手を認めていない)、先輩たちの活躍が励みになればと思います。

なお、大会の結果は一回戦新潟県選抜、二回戦長崎県選抜を破りましたが、三回戦で青森県選抜に敗れベスト一六に終わりました。優勝は静岡県選抜を二対一で下した、栃木県選抜でした。



強化練習中の千葉県中学女子選抜チーム

はバス輸送)。

新しく始まる大会なので、いろいろと判らない点がありますが、五年生主体の大会は、現在日八ム杯しかないので、大事にしていきたいと思いま

NITドコモ野球教室 特別講師に石毛弘典氏

三月六日(土)若松小学校体育館と校庭で恒例のNITドコモ野球教室が行われました。



当初は若松公園球場で開催の予定でしたが、開始予定時刻直前まで小雨がぱらついていたので、急遽場所を変更しての開催でした。

講師はNITドコモ野球部の皆さんと特別講師に石毛弘典氏(市立銚子高校)駒沢大学(西武ライオンズ)をお招きして雨天もなんのその、体育館と校庭で熱い指導が行われました。
最初全員でストレッチなど準備運動後野手組は体育館で石毛さんを中心

に捕球、送球の基本動作バッテリー組は校庭でNITドコモ野球部の方から投球と捕手の基本動作などの指導を受けました。校庭でも体育館でも多数の保護者、コーチの見守る中きめこまかい指導が行われ、選手にとってこれからの技術力と精神力の向上に向け、たくさんヒントやきっかけが得られる場となりました。



閉会式では石毛さんより「せっかく一度始めた野球をいつまでもやり抜きなさい。楽しいことばかりでなく苦しいこと多いかもしれないですが、やりぬくことで野球はこれからの君達の人生の大き

な宝になります！」という熱いメッセージを選手たちにいただきました。



最後に石毛さんより選手への参加賞が若松ヤンガス主将伴君に代表して手渡され、指導の御礼の言葉を夏見台アタックの主将坂本君が元氣よくあいさつして、3時間余りの熱血野球教室の幕を閉じました。なお今回は三七チーム、約二百名の選手の参加がありました。



今回、ドコモ野球教室に参加した、宮本ビーバースの選手たちの感想を一部掲載します。

ドコモ野球教室に参加して

気付いたこと・思ったこと

野球教室のことは基本だったけど、基本も大事だなと思った。
石毛選手がいていたことは、野球以外でもやらなければいけないと思った。例えば、話しを聞く時は話している人の目を見ない時があるからこれからはしっかり人の目を見たいと思った。
技術的なことでは、バッティングのことがよく分かった。
今頃はバッティングが絶不調なので話をよくきいた。次の練習で、バッティングフォームに注意してやってみたいと思った。

野球教室のことを用いて、バッティングのホームをもうちょっと工夫したいなと思った

野球教室で教えてもらった投げ方とゴロのとり方を工夫しようと思った。

ぼくは野球教室で教えてもらったことで今年やった書き初めの目標をたっせいできると思います

野球にたいする思いなどがすごかった

投球の基本などを知れてよかった、勉強になった。
野球教室は春季大会に向けていろいろ知れたのでよかった
これからケガをしないようにする
これからも野球教室に参加して技術を高めたい

野球教室に行って石毛選手とあく手をしてもらってあく力がとても強かったです。

石毛選手から教わってそれを練習に生かそうと思いました。
投げる時にかたむいたり、手がむねの前にあるようにする。
打つ時にあまり大きくふらないようにする。

石毛さんに教わったこと

レベルスイング トップの形
上から投げる ボールのにぎり方
グローブで心ぞうを守る(右の人)
人が話をしている時は目を見て話を聞く
親指が下をむくようにする。
投げる時に後ろの足が残るように投げる
「全部できるようにがんばります！」

ためになったこと

まずアップが大切だと思いました
野球はケガをしたらだめなので大切だと思いました
次に投げ方でぼくは体を支えている下半しんが弱くて左右たいしょうじゃないとだめなんだと思いました

大会規程等の改定について1(抜粋)

大会規程

第3条(参加資格)関係

1クラブで2チーム以上参加する場合の条件を追加

(春季大会)

1クラブの参加申込は何チームでも可。ただし、各リーグ2チーム以上申込み場合は、それぞれのチームに最上級生(Aリーグ6年生、Bリーグ5年生)の選手登録が半数以上ある場合に限る。

(新人大会・低学年大会)

1クラブの参加申込は何チームでも可。ただし、2チーム以上申込み場合は、それぞれのチームに5年生(低学年大会は4年生以上)の選手登録が半数以上ある場合に限る。

第11条、第13条関係

シートノック等について、現状に合わせる

(6)シートノックは5分間とする(5年生以下の大会は7分間とする)。

(8)試合中、ダッグアウト(ベンチ)の中に入れる人員は代表者1名、スコアラー1名、介護員1名の他、登録された監督・コーチ・選手のみに限る。なお介護員は女性に限定する。

(5)ヘルメット

打者、次打者、走者及びベースコーチは連盟公認の耳付きの同一ヘルメットを使用しなければならない。また、主審へのボール渡しをする選手も同様とする。

大会特別規則

2 捕手に関する事項

控え捕手が準備投球を受ける際のヘルメット着用の義務化

2)正規の捕手が用具を準備するために控えの捕手が準備投球をうける場合は、ヘルメットを着用するものとする。

5 特別延長戦に関する事項

特別延長戦を開始するときの条件の変更

5. 特別延長戦に関する事項

継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者として、二塁、三塁の走者は順次前の打者(投手は除いてもよい)とする。すなわち、一死満塁の状態にして1イニング行い。得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。

特別延長戦を2イニング行っても勝敗が決しない場合は、抽選で勝敗を決する。



二月七日に行われた、ベースボールアカデミーの写真です。(写真提供前原エイトマン)

東京キッズベースボールアカデミー イン 若松公園球場

今回の規約改定に伴い、今まで同一・同色・同意匠の対象から除かれていたスパイクについても、春季大会より適用することとなりました。同系色

大会試合時の KSTATIONS



であればメーカーの違いによるラインの違いはOKとしますが、あまり広いラインは考えてください。なお、監督、コーチについても同色のスパイク又はアップシューズを着用することになりますので、ご注意ください。